

2011 年度名古屋大学学生論文コンテスト

優秀賞受賞

J-POP から見る若者の心象風景
～「逢いたいソング」についての考察～

教育学部 1 年 高井 崇佑

1. 研究の目的、背景

Jポップという、若者を中心として日本人が多く愛好する音楽を媒体として、日本人がどのような感情に多く共感するのかを考察する。Jポップを調査の対象に選んだ理由がいくつかある。

日本という音楽市場は、アメリカに次いで世界第二位の規模を誇っている。そして、この大量の音楽消費のうち、約四分の三が「邦楽」つまり「Jポップ」なのである。しかし、日本国内では、Jポップの売り上げは他の国々を圧倒しているのに、一歩日本から外に出た途端、Jポップは全く売れなくなってしまう。国内で得られる著作権収入は約一千六十億円であるのに対して、海外ではそのわずか0.6%、六億七千万円しかない(2002年)。つまり、「Jポップというジャンルの音楽を購入するのは、九十九.四%が日本人」ということになり、「Jポップを愛好し、聴く人々」と「日本文化を母文化とする人々」との間にはほぼ完全にイコールといっても過言ではない、強い関連があると考えられる。つまり、Jポップには強いローカル性があり、それを好む日本人の心理をより強く反映していると考えられる。また、Jポップは十代、二十代の若者から大きな支持を得ており、かつヒットチャートにおいては入れ替わりが激しい、流動的なものである。このことから、Jポップは強い今日性を持っていると考えられる。これらのローカル性、今日性という要素から、日本人の若者の心理の写し鏡として、Jポップを選んだ。

そして、調査を進めていく間に、最近の流行歌に、頻繁に「逢いたい」という言葉が用いられていることに気づいた。こういった類の楽曲を、「逢いたいソング」と呼称することにする。この「逢いたい」という言葉は自分が慕っている異性への思慕を表現した言葉ととらえることができるが、相手へ直接思いを伝えるニュアンスを持っている、「好き」だとか、「愛している」といった言葉より、明らかに頻繁に恋愛関係の歌で用いられているのである。このことから、「逢いたい」という言葉は、若者の恋愛感情について語る上では欠くことのできないキーワードと見なすことができるだろう。この言葉について詳しく調査することで、現代の若者が恋愛において、どのようなスタンスを、どのような心理的状況の下でとっているのかを明らかにすることが研究の目的である。

2. 先行研究について

Jポップや流行歌から若者の心象風景に迫ろうとした先行研究にいくつか目を通した。

人気曲のコードやリズムなど音楽理論を用いたアプローチが多くみられた。例えば、中島百合子(1999,p.101)は、Jポップの人気曲について音楽理論の観点から考察を行い、コードに関して言えば、「イントロ、A、B、Cの部分、エンディングいずれかで特徴的なコード進行を用いていることが多い」と述べている。(A、B、CというのはそれぞれAメロ、Bメロ、Cメロにあたる)

また、松島典雄(1984)は、歌詞を喜怒哀楽に分類し、年代ごとに各感情の量の変化を導き出し、過去から現在に至るまでの共感しやすい感情の変化を探ろうとした。

更に、鳥賀陽弘道(2005)は、人気アーティストの言動やキャラクター、イメージ、歌詞の内容と現在の社会における風潮、出来事、大衆の行動を絡めて日本人の心象風景について考察した。

音楽理論を用いた考察は素人には難しいので参考にしづらい。歌詞から感情を抽出する方法は具体的な方法が明示されておらず、客観性のある研究を行うことは困難だった。最後の方法では具体的な現象からの考察であったので、客観性を得ることはできていたが、年代ごとの変化をとらえることができていなかった。

3. 研究の方法

J ポップのジャンルに含まれる曲の歌詞について分析していく。

第一に、ある程度の社会的認知度、若者からの人気（オリコン十位以内程度を想定）があるアーティストについて考察すること。若者から認知されていて、かつ支持されているアーティストの曲でなければ、若者の心理を反映している曲とは言えないからである。

第二に、今回調査する曲は「逢いたい」という言葉を含むもの(「会いたい」という表記方法のものも含む)に限定する。カウントする言葉を「逢いたい」という具体的な行動一語に縛ることによって、分かりやすく、かつ客観的な調査ができると考えたからである。

3つの観点から考察をしようと思う。

- ① まず「逢いたい」という言葉そのものについて考察する。よく J-POP の歌詞の中では「あいたい」という言葉に対して、「逢いたい」という漢字がふられる。本来なら、「逢」と「会」は同じ意味を表すはずであるのに、その曲に恋愛感情が絡んでくると、途端に「逢」の漢字が用いられるようになる。このような漢字の使い分けは若者のどのような心理に基づいて行われているのかを、J-POP の歌詞から導き出す。「逢」と「会」が用いられている楽曲の歌詞を比較し、その使い分けについて考察する。
- ② 次に男女の間で、「逢いたい」の用いられ方について違いがあるのかどうかを考察する。古くから日本では、「男性が女性に会いに行き、女性はそれを待つ」という構図が一般的であったが、現代においてもその構図は当てはまるのか。それとも、全く異なった状況になっているのか。男性が作詞した J-POP の楽曲と女性が作詞した楽曲の歌詞を比べることによって、男女間の「逢いたい」の背景にある差を見出す。
- ③ 最後に現在と昔の「逢いたい」の違いについて考察する。「逢いたいソング」は、「自分の好きな相手に逢いたいけれど逢えない」歌であると言える。そこで、現在(2000年

以降)と過去(90年代)のJ-POPの歌詞における、「逢えない理由」つまり、「どういった状況の下で逢うことができないのか」ということの比較を行う。そして、現在と過去の若者の「逢いたい」にまつわる感情の違いを見出す。

4. 結果とその考察

4.1. 「逢」と「会」の違いについて

まず、意味合いにおいてこれらの言葉の違いを確認してみる。「新漢語林」(大修館書店)によると、基本的に「逢」、「会」ともに「人と人とが出会う」という意味は持っていたが、「逢」の方は、「道を行って出会う」という意味を持ち、「会」の方は「人が集まる、面会する」という意味を持っていた。これらのことから、意味においては、完全に2つの漢字が同じ意味を表さないことが分かった。

次に歌詞からその用いられ方の違いを考察する。

まず、これらの歌詞について注目してほしい。

初めて逢った日に よそよそしく
あれからいろいろあって 時には喧嘩もして
分かりあうためのトキすごしたね
→Greeeen「愛唄」

会いたい会いたい会いたい会えない
わたしだけを見てほしいよ
→加藤ミリヤ「Aitai」

前者は2007年に発表され、着うた、着うたフルダウンロード数525万件以上を記録した、「Greeeen」という音楽グループの「愛唄」という楽曲である。後者は「加藤ミリヤ」という女性シンガーソングライターの2009年に発表された「Aitai」という楽曲である。加藤ミリヤは女子高生を中心に大きな支持を得ており、「女子高生のカリスマ」と呼ばれている。これらの「ケータイ世代に受けている」という共通点を持つ楽曲において比較を行う。

比べてみると、「逢」の方は、「人と人とが最初に出会う」というシチュエーションに焦点を置いている、つまり、「巡り合い」を意味しているのに対し、「会」の方は、「すでに面識のある同士が会う」というニュアンスを持っている。「逢」という漢字を用いることで、「男性と女性が運命の出会い」をした、という風に、より出会いのロマンチックさを増幅させたと考えられる。しかし「逢」という漢字はただ「最初の出会い」という意味合いだ

けに用いられるわけではない。

次の歌詞に注目してほしい。

「変わらないでよ、離れても私以外の女の子と話したら浮気になるよ!」と
おどけて見せたお前の笑顔少し涙を浮かべていたよ
別れが来る前にギュッとギュッともしっかり抱きしめたいよお前を
Ah 長い髪も何度も重ねてた唇も
甘い香りもくしゃくしゃになったその笑顔も…
忘れないよ、離れてもお前だけを見ているよ、
ずっとずっと…
逢いたい。逢えない。辛い。寂しい。逢いたい。
笑い合いたい。
ギュッとしたい。
想い募るけど大丈夫だよ
遠恋だけど逢えない時間も
ずっとアイシテル。
“逢いたい。”
→**Sonar Pocket**「遠恋だけど逢えない時間もアイしてる。」

これは、2011年に発表された **Sonar Pocket** というグループの「遠恋だけど逢えない時間もアイしてる。」という楽曲である。この曲の歌詞は前に挙げた加藤ミリヤの曲のニュアンスに近いにも関わらず、「逢」の漢字が用いられている。ゆえに、この漢字は、最初の出会いのときならず、恋人、またはそれに準ずる関係の男女が会うときにも用いられることがわかる。このことは「逢引」という言葉が存在することからも正しいと言えるだろう。つまり、「逢」という漢字は、用いることで詩を目にするものにどこかロマンチックな印象を与えることのできる便利な言葉だということができる。アーティストは自分の好きなように、その場に応じて、「逢」を使うか、「会」を使うか、選択することができるのである。**Sonar Pocket** は、自分の恋人に会いたいという気持ちにロマンチックな印象を与えるために「逢」の方を採用しているのに対し、加藤ミリヤはそれを採用していない。これは、加藤ミリヤが、楽曲にロマンチックな印象よりも、切迫感のある、現実味のある印象を与えようとしたからだと思われる。歌詞からも読み取れるように、この楽曲では、恋に傷ついた女性の叫びが歌われている。ゆえに、その状況にふさわしくなるよう、加藤ミリヤはロマンチックさより切迫感を優先させたのだろう。

4.2. 男女間での「逢いたい」のとらえ方の違い

まず、男性目線からの歌詞を見てみる。

ただ逢いたくて… もう逢えなくて
くちびるかみしめて 泣いていた。
今 逢いたくて…忘れられないまま
過ごした時間だけがまた 一人にさせる。
悲しい過去も 若過ぎた日々の過ちさえ
キミに出会えて 深い海に沈められたのに
あの頃の僕と言えば 愛し方さえも知らず…ただ…
不器用にキミを傷つけて 優しさ忘れていた。
ただ 逢いたくて… もう逢えなくて
くちびるかみしめて 泣いていた。
今 逢いたくて…忘れられないまま
過ごした時間だけがまた 一人にさせる。
最終電車 僕の肩に顔をうずめたまま
寝息を立てる 何よりも幸せだったよ…。
今ならば叫ぶ事もキミを守り抜く事も出来る。
もう戻らない時間(とき)だけを悔んでしまうのは…何故？
ただ…愛しくて…涙も枯れてキミの居ない世界をさまよう。
忘れたくない…キミの香りをまだ
抱き締め眠る夜が Ah~孤独にさせる…。
ただ…逢いたくて
→EXILE「ただ…逢いたくて」

これは 2005 年に発表された EXILE というグループの「ただ…逢いたくて」という楽曲である。これに加えて先ほど紹介した Sonar Pocket の楽曲で考察する。

次に、女性目線からの歌詞を見てみる。

今日は記念日 本当だったら二人過ごしていたかな
きっと君は全部忘れてあの子と笑いあってるの？
ずっと私だけにくれてた言葉も優しさも
大好きだった笑顔も全部あの子にも見せてるの？
Baby I know
君はもう私のものじゃないことくらい

でもどうしても君じゃなきゃダメだから
You are the one
会いたくて 会いたくて 震える君想うほど遠く感じて
もう一度二人戻れたら…
届かない想い **my heart and feelings**
会いたって願っても会えない強く想うほど辛くなって
もう一度聞かせて嘘でもあの日のように“好きだよ”って…
I love you 本当は **I'm in love with you baby**
I love you **But still I can't tell my words of love**
「幸せになってね」と君の前じゃ大人ぶって
そんなこと心の中じゃ絶対に思わない
Baby I know
誰より君の全てを知ってるのに
でもどうしてもあの子じゃなきゃダメなの?
So tell me why
→西野カナ「会いたくて 会いたくて」

これは西野カナというシンガーの「会いたくて 会いたくて」という楽曲である。これに加えて、再び加藤ミリヤの「Aitai」を以下に引用する。

あなたがよかった 例えどんなに傷ついたとしても
どうして私じゃないの？ あの子の元へ帰らないで…
一番に愛さなくていいから お願い傍に居させて
抱きしめて嘘でも あの子より私を好きだと言って
会いたい 会いたい 会いたい 会えない
私だけを見てほしいよ こんなに こんなに
胸は痛むのに想いは今もあなたに溢れてく…
せっかく会えたのに 冷めた態度強気なあなた
叶わない恋とわかっていても 追いかけるなんて、
ねえバカでしょう？
少しでも問い詰めたら あなたはもう会ってくれなくなるでしょう？
我が儘は言えないよ どうしてもあなたじゃなきゃダメなの…
会いたい 会いたい 会いたい 会えない
願うほどに消えちゃいそうで
追えば 追うほどに遠くなるばかり こんなにあなたを想ってるのに…
→加藤ミリヤ「Aitai」

これらの楽曲はともに、異性に向けられた曲であり、それぞれ男性、女性が作詞しているので、男女間の恋愛感情の違いをくみ取りやすい。

まず、男性の方に注目すると、男性はともに、現在、遠くにいて、すぐに、または会いたいときに会うことができなかつたり、何らかの理由で会うことができなくなってしまうかつての恋人に対して、「ずっとアイシテル」、「忘れられない」などの表現を用いて、自分とは遠いところにいる想い人のことを思慕する感情を歌っている。

女性の方はどうだろうか。女性の方は男性の2曲に比べて、その類似性が際立っている。また、その歌詞の内容は、同じ失恋ソングであっても、EXILEのものに比べると、より相手に対する未練の感情が感じられる。ともに、一見して分かるように、この曲は失恋の模様を描いている曲である。ある女性が自分とは違う女性のことを好きになったかつての恋人のことを思って書かれた曲である。ここで女性は、自身のやりきれない思いを赤裸々につづっている。共通しているフレーズは、「どうして私じゃいけないの/あなたじゃなきゃいけないの/私だけ/こんなにもあなたを想っているのに/嘘でもいいから愛してると言って」こういったフレーズは、上で挙げた西野カナ、加藤ミリヤに加え、浜崎あゆみの「Suset~Love is All~」など、私がよく目にする「逢いたいソング」において顕著に見られるもので、現代の若者の恋愛観を大きく反映しているものと考えることができる。そしてこれらのフレーズから、彼らは思いを寄せる人に大きく依存していることがわかる。共依存の傾向がみられるのである。

共依存とは、他者に必要とされることで、自分の存在意義を見出すことであり、自分と相手が特定の間人間関係に依存する状態で、自己の存在意義を認めてもらおうとして過剰な献身を繰り返すなどの行為がみられる。相手に尽くそうという女性だけでなく、その関係を手放そうとしない男性にもあてはまることである。こういった曲に共感する人が多いということは、現代の若者は自分自身で存在意義を見出すだけでなく、相手との関係の中から存在意義を見出す傾向も強めてきているのではないか。この事象は、社会の風潮や価値観の変化など、複数の原因が絡み合ったものの結果としてとらえることができるが、大きなウェイトを占めているのは、大量消費社会の浸透や、携帯電話の普及なのではないか。大量消費社会の浸透により、消費者のニーズは満たされやすくなり、それらはすぐさま消化されるので、人々は飽きを覚えてしまう。そして、次から次へと新しい刺激を欲するようになり、本来は見返りを望むことなく行われる恋愛においても、相手に「愛されたい」という欲求が強く表れるようになった。そして、こういった曲を好むいわゆるケータイ世代の若者たちは、携帯電話を用いることに慣れている。携帯電話によって、連絡を取りやすくなったという点で男女の距離感はたしかに縮まっただろう。しかし、それが反動となって、常に相手がそばにいなければ心配であるといったように、相手とのつながっていたいという強迫観念も育まれてきたはずだ。ゆえに、この曲のように「相手が必要で必要でたまらない」という歌詞に共感する若者が増えていったのではないか。

こういった歌詞が男性においてよりも女性において多く見られるのはなぜか。これは「男

性は女性を守るもの」という価値観が反映されたものだと考える。これは、上のような男性アーティストの、「今ならば叫ぶ事もキミを守り抜く事も出来る」や「忘れないよ、離れてもお前だけを見ているよ」といった歌詞から見て取ることができる。それに、男性が、上にあるような加藤ミリヤや西野カナの歌詞を歌っているところを想像していただきたい。やはり、聴き手は「女々しい」といった印象を受け取るだろう。男性も「逢いたいソング」に共感したり、それを歌ったりすることもあるが、女性とはまた異なった意図、つまり、「守りたい、見守ってほしい」という意図をもって、そうしていることがわかる。女性においても、男女を平等に扱う考え方が広がり、旧態依然とした価値観は影を薄めつつあるも、「守られる側、献身」という意図が、「逢いたいソング」の中に紛れ込んでいるのである。

4.3. 現在と過去の間の「逢えない」理由の違い

ここで過去の「逢いたいソング」について考察する。

懐かしいにおいがした すみれの花時計 恋愛中ってもっと楽しいと思ってた
好きになるのは簡単なのに輝き持続するのは…

ら・ら・ら ~今日と明日はあなたに逢えない

TVやマスコミはいったい誰のもの？

とっても寂しいから とりあえずつけてます

夢があるのはいいのだけど こんな忙しい人じゃ…

ら・ら・ら ~今日も明日もあなたに逢いたい

年月が経つのはなぜ こんなに早いのだろう

あっという間にもう こんな年齢だし、親も年だし、

あなたしかいないし…ねえ

ら・ら・ら ~何かやらなきゃ誰にも会えない

人の心 裏の裏は ただの表だったりして

振り返れば恋ばかりで つい自分を忘れてた

これから私 何をどうして生きていけばいいんだろう…

ら・ら・ら ~やっぱり 今日も明日もあなたに逢いたい

ら・ら・ら ~だけど 今日も明日もあなたに逢えない

→大黒摩季「ら・ら・ら」

あなたに逢いたくて

二人の部屋の扉を閉めて 思い出たちに” さよなら” 告げた

あれから半年の時間が流れて やっと笑えるのよ

毎日 忙しくしているわ 新しい人生を私なりに歩いている…

あなたに逢いたくて 逢いたくて 眠れぬ夜は...
あなたのぬくもりを そのぬくもりを思い出し...
そっと瞳 閉じてみる あなたの後 歩きたかった
二人で未来 築きたかった
どんなに愛しても 叶うことない 愛もあることなど
気付きもしないほど あなただけ... 見つめてた 愛してた 私のすべてをかけて
一緒に 過ごした日々を忘れないでね 後悔しないでしょう...
二人 愛し合ったこと...
愛してると つぶやいて...
→松田聖子「あなたに逢いたくて」

前者は 1995 年に発表されたこの曲は大黒摩季の「ら・ら・ら」という楽曲である。後者は 1996 年に発表された松田聖子の「あなたに逢いたくて」という曲である。この曲はミリオンセールを達成した松田聖子自身の最大のヒット曲である。これらの曲は発表された当時、共に大ヒットを記録し、社会現象となった。そして、この 2 曲はちょうど携帯電話が普及し始めていて、世の中にあまり浸透していない頃にヒットしたものである。2011 年度の総務省情報通信政策局の通信利用動向調査報告書世帯編によると、1995 年から 1996 年にかけて、携帯電話の普及率は倍以上になっている。それに対して、西野カナ、加藤ミリヤは共にケータイ世代から大きな支持を得ており、ケータイ世代の代表格と言える。携帯電話を媒介とした音楽とのかかわりは現代において顕著なものだと言える。ゆえに、「携帯電話以前」と「携帯電話以後」で、現在と過去を分けようと思う。松田聖子、大黒摩季の曲と西野カナ、加藤ミリヤの曲を比較して、一見してわかることは、過去の曲の方が現代の曲に比べてさばさばとしているということだ。現代の曲が、「どうしても私じゃいけないの/あなたじゃなきゃいけないの/私だけ/こんなにもあなたを想っているのに/嘘でもいいから愛してると言って」とうたっているのに対し、大黒摩季の曲では、「自分を忘れてた」と、歌い、松田聖子の曲からは、諦念が感じられる。「どうしても」という気持ちは感じられない。これらの曲がリリースされた 90 年代は、バブルの崩壊時期とかさなっており、ちょうど就職氷河期が始まった時期で、社会全体が暗い雰囲気にもまれていた。その中で若者は自らの生活に集中せざるを得なかったため、恋愛においては現在よりもドライであったのかもしれない。現代においては、携帯電話を用いることで一定のコミュニケーションは確保しやすかったと思われる。それに対して、携帯電話以前では現代に比べて連絡を取る方法は制限されていただろう。だから、過去においては、コミュニケーション手段が少ないのは当たり前だったのでドライさが見られるのではないか。

次に、どういったシチュエーションのもとで会うことができないのかについて考察する。現代の曲は、ともに「恋人に自分とは違う好きな人ができた」というシチュエーションであるのに対し、松田聖子は「恋人との別れ」であり、大黒摩季は「恋人が忙しいから」で

ある。この際印象的なのは、過去の曲の中では、自分の周りの生活についての描写がなされていることである。現代の曲がひたすら相手に思いを訴えているのに対し、過去の方は、もう少し世界が広がっていて、周りの世界も歌詞中の物語に絡んできている。

これらが示唆していることはなんだろうか。これも先ほど述べた現代人の存在意義の観点から説明することができる。現代の若者にとっては、相手との、恋人との結びつきがその人の世界そのものなのである。言葉通り「わたしのすべて」なのである。ゆえに自分のアイデンティティーを守ろうとして、「何としても相手とつながりたい」のである。過去においては、恋人の存在は、自身にとってかけがえのない、おおきな支えとなるものでありながらも、「あれから半年の時間が流れて やっと笑えるのよ 毎日 忙しくしているわ 新しい人生を私なりに歩いてる…」という歌詞にみられるように、自分の存在意義を、恋人とのつながりにおいてのみ、見出すのではなく、自分の周りの社会とのふれあいや自分からの干渉、そこからも自分自身の存在意義を見出しているのがうかがえる。ここでの「逢いたい」は現代のものと比べると、切迫した感情を含んでいないことがわかる。

5. まとめ

今回の研究から、「逢いたい」と「会いたい」の違いやアーティストがそれらを意識して使い分けていること、男女の「逢いたい」の意識差や、若者が他者との関係の中から存在意義を見出す傾向にあること、現代と過去における「逢いたい」温度差、つまり現代より過去の方が恋愛においてはドライであり、過去においては外側のものに目を向けていたことが分かってきた。今回の反省点は、選んだ曲に考察が大きく左右されてしまったのではないか、という点にある。これからは更に深く正確に J-POP とそこから読み取れる若者の心理状況を見出すために、新たな研究方法や、情報収集に努めていきたい。

参考文献

- 烏賀陽弘道(2005)「J ポップの心象風景」、文春新書 、文藝春秋
- 速水敏彦(2006)「他人を見下す若者たち」、講談社現代新書、株式会社講談社
- 山西 正子 、山田 繭子(2008)『『あたし』考』、目白大学人文学研究 4 巻 pp183-200
- 藤川大祐(2000) 「ヒット曲の変化と子供たちの状況(2)-『等身大ソング』-の台頭」
金城学院大学論集人文科学編 33 巻 pp.169-182
- 難波江 和英(2002) 「J ポップに見る男と女の言説：平成の若者の「こころもとなさ」
(PART II)」、神戸女学院大学女性学評論 16 巻 pp. 121-142
- 難波江 和英(2003)「ポップに見る男と女の言説--平成の若者の「こころもとなさ」(PART3)」、
神戸女学院大学女性学評論 17 巻 pp. 112-114

加藤千佳(2001)「「会う」VS.「逢う」：漢字から受けるイメージと使い分け」、金沢大学経済学会、学生論集 | 金沢大学経済学会、20 巻 pp.37-48

中島百合子(1999)「最近のミリオンセラーにみる J-Pop の音楽的構造と観察-若者に圧倒的人気の最近のヒット曲に,近未来感覚を感じながら-」、大垣女子短期大学研究紀要 40 巻, pp97-108

野口康彦(2009)「大学生カップル間におけるデート DV と共依存に関する一検討」、山梨英和大学紀要 8 巻 pp. 105-113